

## 略歴

(平成 20 年 9 月現在)

氏名 日高敦夫(ひだかあつを)

### 学歴

昭和 36 年 大阪市立大学医学部卒業

### 職歴

昭和 46 年 大阪市立大学医学部講師「産婦人科学」

昭和 54 年 大阪市立大学医学部助教授「産婦人科学」

昭和 59 年 英国 Wales National University Medical School ～

大阪市立大学在外研究員、客員教授、associate consultant として留学

平成 3 年 大阪市立母子センター所長 大阪市立大学客員教授

平成 5 年 大阪市立総合医療センター副院長 大阪市立大学客員教授

平成 10 年 皇学館大学生命科学教授

平成 15 年 皇学館大学付属図書館長併任

平成 19 年 阪和住吉総合病院 顧問

### 主なシンポジウム

#### ・日本産科婦人科学会

1976 第 28 回；「胎児安全限界判定へのアプローチ」－Fetal distress 発症の予知と対策

1988 第 40 回；「妊娠中毒症—その病態論的アプローチ」－母児循環動態に関する基礎的臨床的研究

#### ・World Congress of Obstetrics Gynecology IVth(1979) ; Management of perinatal distress – Conservative methods of intrauterine resuscitation of the fetus during labor.

### 学会及び社会活動等

日本妊娠高血圧学会・常任理事・学術委員長

日本産科婦人科学会・功労会員

日本周産期・新生児医学会・功労会員

厚生省・神経疾患研究班員 (昭和 58～60 年)

厚生省心身障害・妊産婦死亡の防止に関する研究班員(平成 6～9 年)

11<sup>th</sup> World Congress of International Society for the Study of Hypertension in Pregnancy(ISSHP) .Vice General Secretary (平成 9～10 年)

### 学会賞

1974 近畿産科婦人科学会学術奨励賞授与「子宮胎盤循環動態に関する研究」

1990 国際学会賞 ; Awarded by ISSHP 「Effect of the vascular endothelial cells on refractoriness to angiotensin II of pregnant and non – pregnant rabbits – Significance of EDRF」